

現代生物学ゼミナール報告(1967年)

第31回 生物教育における視聴覚教材について

42.1.10 大阪大学 上坪 英治氏

図解・幻灯器の特殊利用・8%教材・16%教材・35%教材・プラスチック教材・視聴覚教材の取り扱い。

第32回 高校理科・生物実験の取り扱いについて

42.1.10 神戸高校 松村 正義氏

生物実験の意義・これからの方向・定量化の問題
実験例・討議——現場で具体的にどのように取り組むか——

事例呈示校：甲陽・芦屋・神戸・葺合・湊川・兵庫・夢の台・長田・姫路東・加古川東・洲本・高校および教育研修所

第33回 現代生物学の動向について

42.4.22 東京大学 石田 寿老氏

現代生物学の分析と総合の2方向・神経内分泌系の総合的研究・細胞分化の分析的研究・ウニの受精現象・生物学の動向と高校教育・研究と教育・未来への見通しと生物科教師の心構え。

第34回 BSCSの風土的基盤——改革期のアメリカ生物教育の現状研究より帰って——

42.7.7 洲本高校 石上 晃氏

変化する時代と教育・教育の改革運動・その背景と哲学・理論から実践・BSCSの発展・提案
(県生物学会カリキュラム委員会)

第35回 植物の生長点とその分化

42.8.30 法政大学 笠原 基知治氏

高等植物の生長点を構成する各部の細胞が、その後の組織や器官のどこをどのように形づくるかの研究方法の1つは斑入りを利用することで、生長点部で遺伝的に変色した細胞が、その後増殖分化して、まわりと異色の組織に発達することにもとづくもので、種々の斑点の中から必要なものを選択配列し、これから逆算的に生長点の構造や分化の機序を明らかにするものである。発生様式は共通性が強いから斑入りを材料にして少数のものであげた成果でも、これが正しければ、その価値はある。身近な物を教材に生かす立場からも、ある程度の活用を期待したい。(H.O)

第36回 両生類を材料にした生物学的研究

42.9.16 広島大学 川村 智治郎氏

両生類を材料に選択した理由とそれまでの研究経過・動物における倍数性の研究と複2倍体をつくるまでの経過——ハプロイドからトリプロイド、さらにテトラプロイドへの発展、ブリッグスの核の移植から複2倍体作成まで——核細胞質雑種・発生における核と細胞質の関係について。(H)

第37回 集団遺伝学からみた進化のしくみ

42.10.13 国立遺伝学研究所 大島 長造氏

進化要因としての突然変異・進化要因としての自然淘汰・種の分化と隔離の機構。(録音したテープは鳴尾高校に保存)

第38回 生物学の進歩と高校の生物教育

42.10.27 大阪大学 今堀 宏三氏

(別掲)(録音したテープは明石南高校に保存)

第39回 細胞の微細構造とその働き

42.12.14 奈良女子大学 植田 勝巳氏

1. 核(核膜, 核仁, 染色糸, 核液)
2. ミトコンドリア(cristae mitochondriales, unit membrane, unit particle)
3. 小胞体 cisternae と ribosome, 粗面小胞体—蛋白質合成, 滑面小胞体—ホルモン合成)
4. べん毛, 中心粒
5. 色素体
6. 組織, 器官(横紋筋, 心筋, じん臓, 消化管上皮, 神経)
7. 顕微鏡の分解能

第40回 ヒトの遺伝とその調べ方

42.12.16 神戸大学 川辺 昌太氏

1. 人類遺伝学小史
2. 遺伝子と形質
3. 人類遺伝学の分野
4. 人類遺伝学の特殊性
5. ヒトの遺伝の調べ方(資料の集め方, 調査事項, 家系分析法, 双生児法, 分離比検定法, その他(プリント残部あり))

予告 第41回科学映画の利用 43.1.9 葺合高校

今後のゼミナールについてのご意見, ご希望をおよせ下さい。

神戸市長田区池田広町
県立長田高校 安房 明